

霧の旗 (1965)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 111分
初公開日 1965/05/28

【解説】

松本清張の同名小説を橋本忍が脚色し山田洋次が監督した。倍賞千恵子が能面のように無表情で、復讐に燃える主人公を熱演。1977年には山口百恵主演で再映画化された。

柳田桐子は、熊本の老婆殺しの犯人として逮捕された兄の正夫を救うため、高名な大塚欽三弁護士の本務所を訪ねた。正夫の弁護を依頼する桐子だったが、大塚に断られてしまう。しかし事件のことが気になった大塚は、犯行の状況から犯人が左利きなのではと思い始める。正夫は無罪を訴えながら死刑となった。東京のバーで働き始めた桐子は、大塚に恨みを抱くようになった。知り合いの殺害現場に偶然居合わせた桐子は、大塚を陥れる計画を思いつき、実行に移すのだった。

【クレジット】

監督 山田洋次
製作 脇田茂
原作 松本清張
脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto
撮影 高羽哲夫
美術 梅田千代夫
音楽 林光
出演 倍賞千恵子
滝沢修
露口茂
新珠三千代
清村耕次
川津祐介
近藤洋介